

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

戸田工業株式会社 大竹事業所

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市明治新開1-4

(3) 業種

無機顔料製造業 1622

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和5(2023)年度から令和8(2026)年度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は、環境の保全を経営の重要課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献します。

特に、今日の環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については、自らの事業活動のみならず、当社の製品を使用する消費者のことも考慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2. 方針

- 省エネルギー、省資源の推進
- 再生可能エネルギーの導入促進
- 環境にやさしい製品の提供
- 廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進
- グリーン調達の推進
- 環境保全活動への積極的な参加
- 社員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25 (2013) 年度	令和4 (2022) 年度
二酸化炭素	25,688	11,152

※電力由来には調整後排出係数を用いて算出

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25 (2013) 年度	令和4 (2022) 年度
二酸化炭素	0(不明)	283 (2022年度より全社でGHG第3者認証を目指してコンサルを受け、製造の化学反応分を算出計上することになりました。)

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25 (2013) 年度	令和4 (2022) 年度
メタン	15 (浄化槽のみだと5.1) (以前、廃棄物など本来不要なものを計上していました)	1.8 (単独処理浄化槽分のみ)
一酸化二窒素	17 (浄化槽のみだと1.8) (以前、廃棄物など本来不要なものを計上していました)	2.1 (単独処理浄化槽分のみ)
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25(2013)年度)		削減目標		目標年度 (令和8(2026)年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO ₂					0
非エネルギー起源CO ₂					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
その他 温室効果ガス					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量					0
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

売上額(GW/年)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25(2013)年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和8(2026)年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	25,688	9.93	2586.9	26.0	19,009	10	1914.3
非エネルギー起源CO ₂	0	9.93	0.0	0.0	0	10	0.0
メタン	5.1	9.93	0.5	0.0	5	10	0.5
一酸化二窒素	1.8	9.93	0.2	0.0	2	10	0.2
その他 温室効果ガス	0	9.93	0.0	0.0	0	10	0.0
総排出量	25,695	9.93	2587.6	26.0	19,016	10	1915.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-	989	12.9	-	-	861
目標設定の考え方	弊社の環境への取組として環境ビジョン2033というものを策定しております。その中で、温室効果ガスの削減を2013-2033年で40%削減を目標としておりますので、上記2013-2026年では比例配分して26%削減を設定しました。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	燃料原単位の改善	LPG・灯油の原単位を年1%改善	生産性向上 蒸気漏れの防止 蒸気トラップの改良 熱交換器の洗浄 熱設備の保温強化 廃熱の有効利用
2	電気原単位の改善	使用電力原単位を年1%改善	生産性向上 待機電力の低減 圧縮エアの漏れ防止 空調設定温度の見直し 冬季空調設備の運転方法適正化 建屋屋根散水による冷却
3	非化石エネルギーへの 転換		非化石化エネルギー比率の高い電力メ ニューへの転換

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

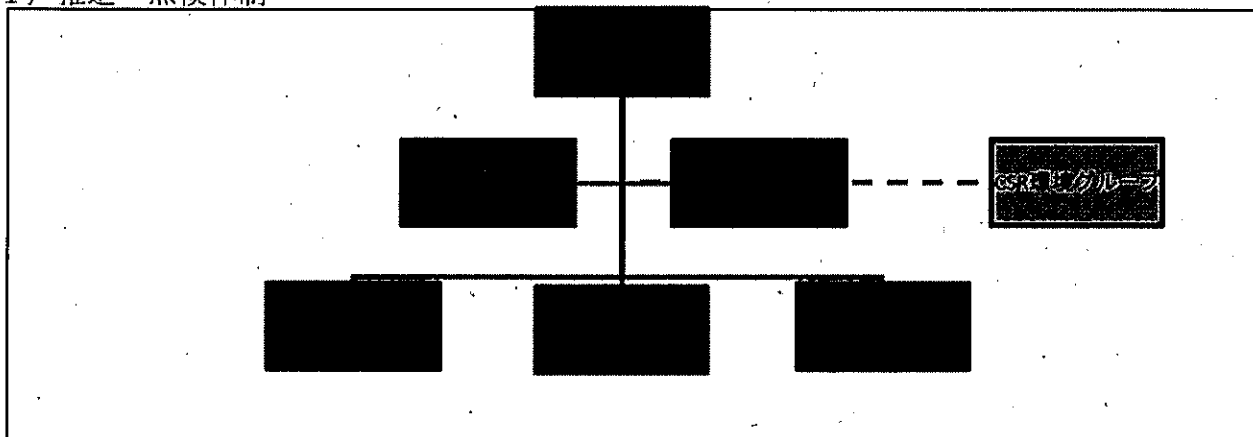
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物埋立量の削減	ゼロエミッションの継続	リサイクル率アップ 廃棄物の発生抑制活動
2	社会奉仕活動		毎月の事業所周辺(2号線)清掃活動
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



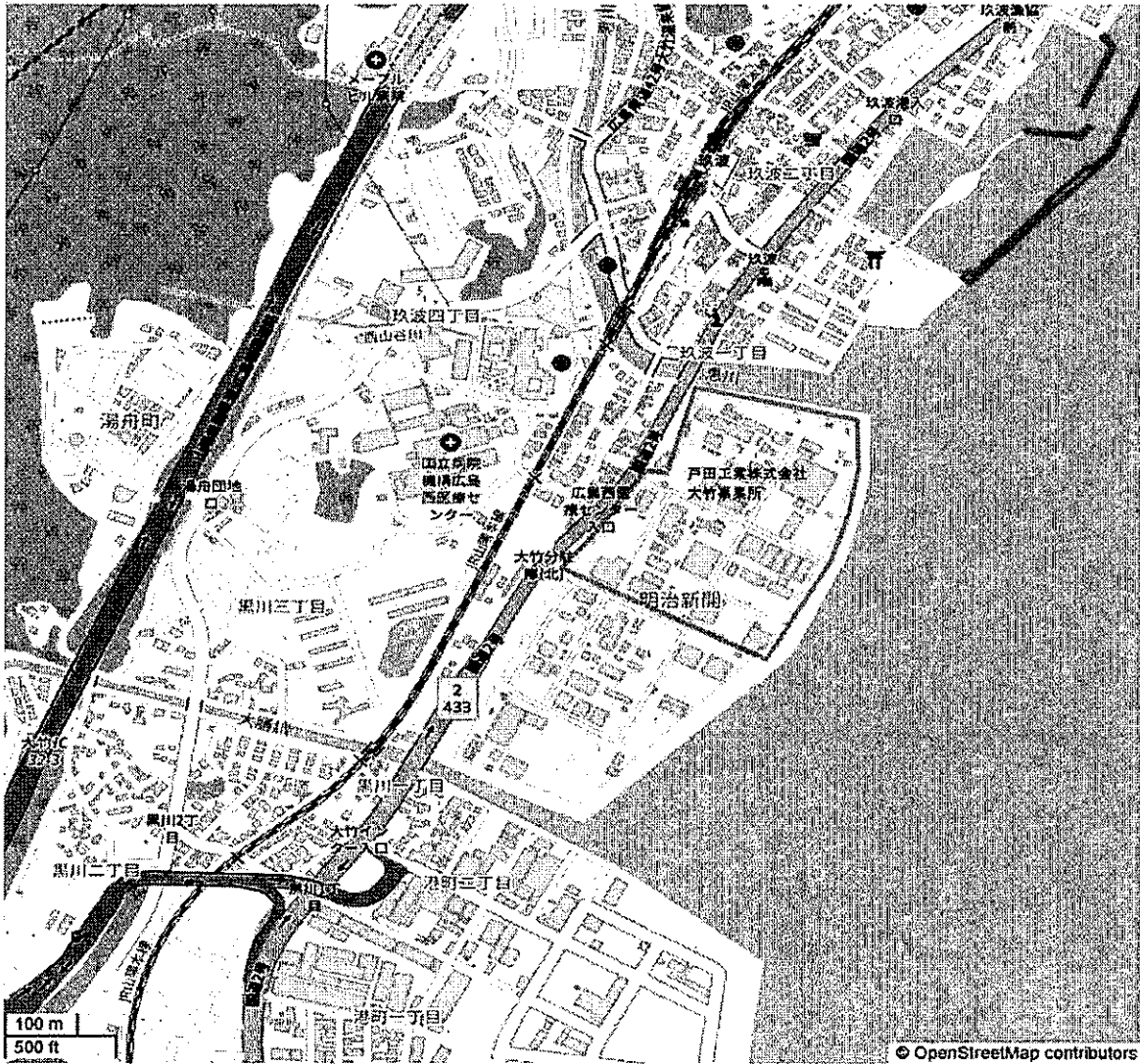
(2) 実施状況の点検・評価

CSR委員会を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検および問題点の検討を行い、計画・実施・点検・見直しを繰り返すことにより継続的に改善する。

(3) 計画書等の公表

戸田工業㈱のホームページ(<http://www.todakogyo.co.jp/>)で、閲覧を可能にいたします。

大竹事業所 位置図



会社名 戸田工業株式会社
〒 739-0652
住所 広島県大竹市明治新開1-4
TEL 0827-57-3616
FAX 0827-57-3559